



女性協議会

九州地連女性協議会

定期大会 悩みを共有 一緒に解決

10月21日に福岡市内で第
四五回九州地連女性協定期
大会が行われました。

「ぶっくばらん」悩みを
共有し、一緒に解決する場
になれたら」という挨拶か
ら始まった定期大会。18年
度の総括と19年度の運動方
針について議論する中で、
出席者からは日頃抱えてい
る業務や職場環境への課題
・改善点などリアルな意見
が寄せられました。

成果主義新人事・賃金制
度については、長崎放送労
組より2019～2020

東北地連女性協議会定期大会 &東北版女性のつどい 働く女性のリアルな意見を

11月10日土曜日、季節が
秋から冬へと移ろうとして
いる岩手県盛岡市を会場に
第四九回東北地連女性協議
会定期大会並びに第二二回
東北版女性のつどいを開催
した。今回は、一〇単組か
ら二六人が参加し活発な議
論が交わされた。

一部の組合では組合員数
の減少が課題となってい
る。その理由として組合費
の高さが挙げられたことを
受け、他の単組からは組合
費の活用（大会の運営や参
加費、慶弔時の見舞金・祝

からは、「愛人にならない
か」と持ちかけられる、二
人での酒席を強いられる、
といった経験をされるも「ず
っと同じ職場にいると、お
かしい」という判断が鈍る」
など、気持ちに蓋をしたが
ゆえに身動きがとれなくな
ってしまう現状が浮き彫り
になりました。

最も活発に意見が交わさ
れたのは、子育てについて
です。「19時退社で残業は
ないが、どうしても子ども
と一緒に夕食がとれない」
「子どもの生活サイクルと
業務時間が合わず、無理を
させてしまふ」といった具
体的な意見には、子どもの
いない人が想像できなかった
点も多く、「子どもを持
つた。指導とパワハラの間
に難しいが、組合員にア
ンケートを実施して実態解
明を行っている単組もあ
り、パワハラ問題が次々浮
き彫りになっていることが
確認された。背景の一つと
して会のなかで上がったの
が、組織の人員構成と配置
である。人数の少ない支社

つ人の声」と「一緒に働く
人の想像力」で職場環境を
改善していくことの重要性
を再認識しました。
この「声をあげる」とい
う「想像力を働かせること」
こそ、組合活動の根幹では
ないでしょうか。お互いを
思いやり、団結すれば一人
では成しえない大きな事も
成し遂げられる。実際に「全
国女性のつどいin熊本」に
ついても「仲間と結束し乗
り越えられた」「コミュニ

理由での退職が多かった
が、今年はパワハラを理由
にあげた単組がいくつかあ
った。指導とパワハラの間
に難しいが、組合員にア
ンケートを実施して実態解
明を行っている単組もあ
り、パワハラ問題が次々浮
き彫りになっていることが
確認された。背景の一つと
して会のなかで上がったの
が、組織の人員構成と配置
である。人数の少ない支社



子連れ参加ができるのが女性協！

●女性協
URL
<http://www.minpororen.jp/women/index.html>



コミュニケーションを強め団結！

ケース」が活発になっ
た」という声が寄せられて
います。いま一度、団結を
高め「一人のためにできる
こと」を考えていこうと思
います。
(九州地連女性協議会
書記長 竹下 優)

に新入社員が配属されるケ
ースも多く、相談ができる
若手社員がいないなど、職
場環境がパワハラにつなが
っているのではないかと議
論された。会社には部署ご
との人員構成、年齢バラ
ンスを考慮することはもちろ
ん、行き過ぎた指導はやめ
ることを当該単組は求めて
いくべきとまとまった。

今回はお子さん連れの参
加者が二人いて、たいへん
和やかな会となった。実際
に産休・育休・時短制度を
利用しての感想や、もっと

民放労連女性協議会より

民放労連女性協議会2018年度の新執行部か
らこの場をお借りしてご挨拶申し上げます。

議長

上宮菜々子



この度、女性協の議長を
務めさせていただくことに
なりました。テレビ朝日ア
ナウンサーの上宮菜々子と
申します。

2019年4月で入社一
五年を迎え、現在まで、主

こうなればよいという課題
点など、現役のママ社員の
話を聞くことで、参加者は
自身の単組の制度について
改めて考える機会となっ
た。時短制度については、
多くの組合で、取得できる
のは子どもの就学前までと
期間が短いことが課題に
あげられた。

また、来年から義務化が
始まる年次有給休暇の取得
についても話が出た。社に
よってはほとんどの社員が
一年間で有休未使用という
ところもあり、権利として

働く女性たちのリアルな
意見を聞くことができる年
に一度の機会なので、今後
も多くの女性組合員の参加
を呼び掛けていきたい。そ
して、より働きやすい・働
き甲斐のある環境づくり
につながる議論を深めてい
こうと思う。

(東北地連女性協議会
議長 甲斐谷 望)

副議長

辻 彩子



に情報・報道番組を担当し
てまいりました。4歳と2
歳の子どもがおりまして、
2017年に職場復帰し、
現在は定時ニュースやナレ
ーションを担当しております。

結婚、出産、育児、介護
など、その時々で様々なラ
イフステージがあると思
います。自分のキャリアを積
み続けながら、働きやすい
環境を作るために、今、ど
のようなことができるのか
。

書記長

渡邊愛美



至らない点も多いかと思
いますが、みなさまからご
指導頂きながら、一緒に考
えて参りたいと思ってお
ります。どうぞよろしくお願
いいたします。

昨年引き続き、民放労
連女性協議会の書記長を務
めさせていただくことにな
りました。テレビ東京労組

推進部で主に料金関係の業
務を行っています。
一人息子は小学校一年
生、仕事と育児の両立を目
指し日々手探り状態です。
様々な環境の女性が、ラ
イフステージに合わせて働
きやすく心地よく過ごせる
環境へ向けて議論できれば
と思っています。

入社以来丸一年営業局
で勤務しており、CM運行
・審査を経て、現在は営業

の渡邊愛美と申します。
職務といたしましては、
コンテンツ事業局コンテン
ツビジネス部にて動画配信
を中心に番組の二次利用ビ
ジネスを担当しております。

2018年度女性協議会

- | | | |
|------|-------|-------------|
| 議長 | 上宮菜々子 | (テレビ朝日労組) |
| 副議長 | 辻 彩子 | (日本テレビ労組) |
| 書記長 | 渡邊 愛美 | (テレビ東京労組) |
| 常任委員 | 鶴飼 利恵 | (東京MXテレビ労組) |
| 〃 | 梶本 眞子 | (日本テレビ労組) |
| 〃 | 河田 実央 | (テレビ朝日労組) |